九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

副島家文書目録〔石炭関係の分〕

秀村，選三
九州大学経済学部

細川，章
多久市立図書館

https://doi.org/10.15017/13564

出版情報：エネルギー史研究 ： 石炭を中心として. 2, pp.79-83, 1973-12-10. エネルギー史研究会
バージョン：
権利関係：

副島家文書目録〔石炭関係の分〕

村選三
川秀章

副島家は佐賀県多久市多久町に居住される家であって、近世では佐賀藩多久領主多久家の家臣であり、多久町村にあって酒造業も早くはじめているが（同家文書「石炭掘方願覚」）、明治四年には副島五郎介が佐賀藩の免許を得て麻畑山において石炭の採掘をはじめ（同上「明治六年、借区開坑願」）、明治二〇年代まで炭坑を保持していたようである（明治十六年・十九年「鉱山借区一覧表」、明治廿七年「試掘採掘採取一覧表」）。そのため石炭関係の文書、記録も残していて、ことに明治一〇年以前のものが多い。明治前期の史料の残存が少い今日では重要な史料とおもわれる。

本稿は肥前多久地方の石炭礦業史の研究のため、その第一歩として副島家文書の石炭関係について目録を作成するものである。

副島家文書は副島家（当主副島俊雄氏）より数回にわたり多久市立図書館に寄贈されたもので、年代的には近世（元禄八年）より明治・大正に至る。近世文書の中には他家より引継のものも幾分か含まれるが、その他は多く副島家自体のものである。その分類項目と点数を概略示せば次の通りである。

(1)法制・政治（七〇点）　(2)知行・家臣・士族（二六点）　(3)土地（一二〇点）　(4)租税（四五点）　(5)小作（一九点）　(6)戸口（一七点）　(7)郡村行財政（七六点）　(8)農業（一〇三点）　(9)養蚕製糸（三五点）　(10)醸造（二五点）　(11)陶器（二点）　(12)産業（佐賀県外）（五八点）　(13)交通（一一点）　(14)石炭（六一点）　(15)軍事（三四点）　(16)学事（三一点）　(17)家および家計（六六点）　(18)金融・売買（五八点）　(19)日記（四六点）　(20)習俗（五七点）　(21)系図（七点）　(22)雑資料（五四点）　(23)教科書類（二三四点）　(24)一般図書資料（雑誌を含む）（三九八点）

このほか書翰と未整理の断簡等があり、今後の調査、整理で多少は右の点数も変るかも知れない。なお以下に掲げる石炭関係の目録も今後の調査・研究で多少変更がなされるかも知れない。なお文書名に付した〔　〕は仮題を示す。

石炭関係文書

石炭根帳	（明治九年子七月ヨリ、勘場）	長帳
諸品買入帳	（明治四年未九月分　椎葉山勘場）	長帳
諸品買入帳	（明治六年酉八月三旬ヨリ、麻畑山請元、勘場存）	長帳
雑用帳	（明治四年未十二月廿八日さん用、勘場存）	長帳
雑用帳	（明治五年申三月十九日ヨリ、勘場存）	長帳
雑用帳	（明治五年申三月廿九日ヨリ、勘場存）	長帳
雑用帳	（明治五年申十月廿九日ヨリ勘場）	長帳

掘子雑用根帳　（明治六年第九月廿九日ヨリ勘場）　長帳
掘子雑用根帳　（明治六年酉十二月廿九日ヨリ勘場存）　長帳
掘子雑用根帳　（明治八年亥五月ヨリ）　長帳
〔掘子雑用根帳〕（年代不詳）　長帳（表紙欠）
掘子借銀帳　（明治八年四月ヨリ、麻畠山）　長帳
仕操日役帳　（明治八年亥十月改、麻畑山勘場存）　長帳
掘子仕操日役帳　（明治九年子八月ヨリ、勘場）　長帳
水勢子方月々貫銭請取帳（明治十年巳九月改、仕法方存）　長帳
焼殻売立駄帳　（明治八年一月改、笹原村善太夫存）　長帳
焼がら俵売立帳　（明治八年亥八月ヨリ、谷下村竜吉存勘場）　長帳
焼がら俵売立帳　（明治九年子三月ヨリ、此帳三冊入也、勘場存）　長帳
金銀払出帳（明治六年酉三月十四日ヨリ、坪上儀兵衛）　長帳
金銀請払□　（明治八年）　長帳
〔金銀支払覚〕　長綴
柱木控帳　（亥五月　麻畠山勘場）　小横帳
柱木買入帳　（明治八年亥六月改、麻畠勘場存）　小横帳
柱木買入帳　（亥九月より、あさ畠山、勘場）　小横帳
柱木通帳　（明治九年子二月より、あさ畠山）　小横帳
柱木通帳　（明治九年子八月改　友吉存）　小横帳
柱木通帳　（明治九年十月改、友吉存、勘場）　小横帳
柱木通帳　（明治十年四月改、竹右衛門、友吉）　小横帳
松木通帳　（明治十年五月、十衛・伊助存）　小横帳
貸蚊屋控帳　（明治五酉初夏）　長帳
戌夏貸蚊屋面附帳（明治七年）　長帳
明治八亥夏貸蚊屋帳　長綴
明治九年子夏貸蚊屋面附帳　長綴
貸蚊屋貸附帳　（明治十年酉夏）　長帳
以上五冊一括
生石駄下帳　（明治五年申正月ヨリ、忠弥存）　長帳
石炭駄付帳　（明治五年申十一月）　長帳
山崎出駄賃払帳　（明治七年戌第十一月九日）　長帳
古賀津駄附　（明治八年九月十八日、勘場）　長帳
山崎出駄賃払帳　（明治九年丙子一月改）　長帳
子夏通シ川船運賃払帳（明治九年子八月改）　長帳
〔駄賃払帳〕　（年代不詳）　長帳（表紙欠）
亥夏継川中運賃払帳（明治八年七月ヨリ、麻畑山）　長帳
子夏継川運賃払帳（明治九年子七月改、麻畑山受元）　長帳
あさ畑山　（年不詳）　（勘場存）　長帳（後欠、破損甚し）
□子引合帳　（明治十年□月改、麻畠山）　長帳（破損甚し）
奉願口上覚　（未七月　附、仕組覚）　書綴
奉願口上覚　（未七年八月五日、五郎助）　書綴
石炭礦口立替願覚（未九月廿九日、副島五郎助）　紙
石炭掘方願覚　（未九月、多久町村冨五郎）　書綴

以上八冊一括

定約石炭積方証　（明治六・七年）　長綴
石炭旧慣税之儀ニ付願（明治八年三月）　書綴
石炭山一件ニ付願（明治九年第八月）　紙
炭坑御検査願　（明治八年十一月十日、副島五郎助）　書綴
石炭坑業資本金額（明治十二年四月、草案）　書綴
約定証　（明治十九年一月三十一日）　書綴
受取証　（明治二十年一月廿五日）　紙
坑内準備ニ付約定証（明治廿四年二月廿七日）　書綴
借区開坑願　（明治六年、副島五郎介）　書綴
借区開坑願　（明治六年十月田淵孫右ェ門、山口番右ェ門）　書冊
借区開坑願　（明治八年十一月十八日、副島五郎右ェ門）書冊
借区開坑願　（明治八年十一月十九日、中村久吾）　書綴
借区開坑願　（明治八年十一月十九日、中村久吾）　書綴
借区開坑願　（明治八年十一月）　書冊
借区開坑願　（明治八年十一月、副島五郎右ェ門）　書冊
借区譲渡願　（年代不詳、　副島五郎介）　書綴
石炭礦譲受渡願（明治十九年八月廿五日、譲渡人吉岡久泰　譲受人副島哲吾）　書綴
譲渡証　（明治二十四年四月九日）　紙
借区坑業明細表（明治四未八月、七年十一月、九年五月、麻畠山）　綴
炭坑試掘坑業明細書（明治七年戌十一月ヨリ十一月ヨリ十二月迄）　書綴
借区坑業明細表（明治七～九年、高木川内村麻畠山）　綴（五通）

借区坑業明細表　（明治十四年）　紙
借区坑業明細表　（明治廿年）　紙
（山々申合書）　紙
約定證　（明治九年十一月）（焼殻山元代価）　紙
覚　（戌十二月廿五日）（古賀津問屋）　紙
（古賀津問屋石炭代金差引）　紙
記　（明治八年九月十九日、副島五郎介）（石炭旧慣税皆納控）　紙
證　（明治十年第三月廿一日、石炭代金請取証）　紙
証　（三井物産会社へ売却石炭ニ付常備金差出）　書綴
仮受取証（明治十年五月廿五日、三井物産会社出張二人ヨリ副島哲吾宛）　紙
証　（三月廿日）（石炭請取預置証）　紙
証　（明治十年）（石炭代金領収証）　紙、五通
長崎商社定約口石炭積渡簿（年代不詳）　長綴
証　（年代不詳）（長崎港石炭代価差引）　書綴
泉藤吉勘場給金写（年代不詳）　長綴
記　（年代不詳）（炭坑諸道具計算書）　紙
証　（明治七、八、九カ、請元ヨリ御相談高等）　長綴
記　（明治七年戌カ、石炭代差引）　紙
運石炭社預切符買入扣（年代不詳）　書綴
覚　（年代不詳）　（生石駄賃）　長綴（破損甚し）
麻畑山炭坑書類（裏面ハ明治六年四月石炭礦廃業願）　紙
右ノ中ニ以下ノ八点ノ史料ヲ収ム

口達　（酉七月廿七日　紙　麻畠ヶ山石炭川船通　長綴
出炭積届　（年代不詳）　紙　麻畑山川船通　長綴
未八月初ヲ願絵図　紙　麻畑石炭車通　（明治九年八月ヨリ）　長綴
〔本通間数見取図〕　紙　麻畠山石炭川船通　長綴
石炭礦廃業願　（後欠）　紙　麻畑山川船通　紙、十二通
借区開坑願（明治八年十一月十八日、大久保山）　紙　柚木原山石炭通　小横綴
借区開坑願（明治八年十一月十九日、小侍村大平）　紙　川舩通帳預置候分入置袋
借区開坑願（明治八年十一月十八日）　紙　右ノ中ニ以下ノ四点ノ文書ヲ収ム
幕末明治初年炭坑其他仕切書等　紙　麻畑山川船通　（五号）　紙
右ノ中ニ以下七点ノ史料ヲ収ム　麻畑山川船通　（十六号）　紙
船買入ニ付願（明治五年申十一月）　紙　麻畑山石炭川船通（十八）　紙
証　（一月二十三日）（頭梁治右エ門ヨリ請元鉄吾宛）　紙　石炭川船下シ運賃払出高目安　長綴（破損甚シ）
石炭風抜仕操ニ付願（明治八年十一月十八日）　紙　書簡　（三月七日）（副島哲吾ヨリ副島五郎助宛）　紙
黒杭山絵図　紙　書簡　（石炭積廻シソノ他）　紙
生石炭駄下通帳（申六月）　小横帳（表紙のみ残存）　書簡　（明治十八年二月六日、福地隆春ヨリ副島哲吾宛）　紙
麻畠石炭運送帳（第十一月）　小横帳（表紙のみ残存）　書簡　（七月十八日）（順暢ヨリ）（炭坑買収、運炭社等）　紙
生石駄通帳　（明治七年戌二月ヨリ）小横帳（表紙のみ残存）　書簡　（徳永徳太郎ヨリ副島哲吾宛）　紙
あさ畠山駄下通　（年代不詳）　長綴　書簡　（　〃　　〃　）　紙
生石炭駄下通帳　（申ノ六月）　小横帳（表紙のみ残存）　書簡　（冬野善右衛門、平山五郎助ヨリ副島鉄五宛）　紙
〔坑内間数見通〕　紙、二通　書簡　（徳永徳太郎ヨリ副島哲吾宛）　紙
麻畑山川船通　長綴　書簡　（冬野善右衛門ヨリ副島哲吾宛）　紙
麻畑山石炭船通　長綴　書簡　（勘場ヨリ副島冨五郎宛）　紙

書簡　（直八ヨリ副島宛）　紙
書簡　（吉太郎ヨリ副島鉄五郎宛）　紙
書簡　（前山猪八ヨリ副島哲吾宛）　紙
書簡　（長崎萬屋町泉屋内副島哲吾ヨリ副島五郎宛）　紙
書簡　（副島哲吾ヨリ副島五郎宛）　紙
記　（酉八月廿三日、麻畠山勘場ヨリ副島鉄吾宛）　紙
書簡　（三月二日）（八坂丸船頭借金）　紙
證札　（酉三月三日）（副島哲吾ヨリ八坂丸喜介宛）　紙
〔炭山絵図〕　紙、二通
〔麻畠山絵図〕　紙、二通
〔多久車通絵図〕　紙

以上が分類上の「石炭」の部に収められた史料であるが、このほか他の項目にも石炭礦業の歴史に関して重要な史料が含まれている。たとえば、「法制」に含まれている佐賀県・長崎県の「布達」、「郡村行財政」に含まれている「後鑑」、「諸願伺届書留」、「交通」の中の「鉄道費地調帳」等の如きである。丹念に読めばなお多く見出すことができるであろう。しかも多久地方には多久家文書、横尾家文書、稗田家文書、安倍家文書等石炭に関する史料を含むものが多い。これらと関連づけ総合して研究することが必要であろう。

付　記

石炭関係の文書の整理にあたっては、松尾八寿雄君（九州大学法学部学生）の協力を得た。紙上を借りて感謝の意を表する。

なお、副島家文書全体の整理・採録には多久市立図書館と九州大学日本経済史研究室とが協力してあたり、ほぼ完了しつつある。